

(公社)埼玉県介護老人保健施設協会
 会長 小川郁男 様

施設名 プライムケア川越
 氏名 松本宏明

研修会報告書

研修会名	平成29年度 第3回リハビリ関係職員研修会				
日時	平成30年2月11日(日) 10時～13時				
会場	熊谷文化創造館さくらめいと				
講師	小野田 恵 氏(言語聴覚士) 数野 順子 氏(理学療法士)				
参加人数	26名(講師・研修委員含む)				
研修委員 (氏名・施設名)	・木森 寛(ファインハイム) ・神山 知子(遊) ・関口 諒(やまざくら) ・小野田 恵(栗橋ナーシングホーム翔裕園) ・小宮 裕(きんもくせい) ・松本 宏明(プライムケア川越)				
研修会のテーマ	『地域包括ケアシステム構築に向けた老健リハビリテーション』 講義①「在宅支援について」、講義②「重度者の受け入れについて」、ディスカッション				
研修会の評価	アンケート回収枚数	22 枚	3. グループワーク	4.3 / 5	
	1. 研修内容と目的の一致	3.8 / 5	4. 研修会の進め方	4.1 / 5	
	2. 講義に対する評価	①	4 / 5	～総合評価点～	21 / 25
		②	4 / 5		
③		/ 5			
④		/ 5			
総 評	(研修会開催後の反省会での内容や研修委員としての感想等を記述)				
	今回の研修会は昨年度に引き続き、地域包括ケアシステム構築に向けた会員施設の取り組みを紹介し いただく企画で、2つのテーマ「在宅支援について」「重度者の受け入れについて」意欲的に取り組まれて 2施設の取り組みを紹介していただき、その後会場全体でディスカッションを行うといった企画であった。				
	2つの講義はそれぞれ講師の施設での取り組みについて具体的に紹介されていて、臨床場面における 多職種協働チームアプローチの中でのリハビリ専門職の役割や、加算算定など制度面で理解しておく 役に立つポイントなどが数多く紹介されていて大変参考になる内容であった。				
	会場全体でのディスカッションも、講師に対しての質問・意見や、自施設での取り組みの紹介・情報提供 とても多くの意見が出て、大変活発なものとなった。参加者アンケートから好評なご意見が多く見られた反 普段の研修会で開催されている少人数によるグループワークを希望する意見も複数見られた。来年度も 地域包括ケアシステム構築に向けた各施設の取り組みを発表していただく研修会を企画しているが、 グループワークにするか全体でのディスカッションにするか？今回のアンケート結果も参考にして企画した 企画全般に関して、来年度のダブル改定に向けた情報を求めている参加者が多かったこと等を振り返る 地域包括ケアシステムに関する研修会を開催する場合、老健を取り巻く情勢や介護保険制度などに 基調報告があると、それを聞いた上で各施設での取り組みなどを聞くことでより充実した内容の研修会に なるのではないかと感じる。				
	来年度も老健で働く人たちに魅力を感じていただけるような、また老健で働きたくなるような魅力ある内 容また専門職としてのスキルアップにつながる内容の研修会を企画・運営していきたい。				

* アンケート結果の詳細については、別紙添付資料「研修会アンケートのまとめ」を参照。